



私が思う、
北区の魅力・好きな場所

四季を通して花や緑が楽しめる「百合が原公園」は、北区の魅力であるだけでなく、札幌市にとっても大切なフラワーパークだと思っています。広がりを感じられる「創成川」沿いの景色や、「五戸の森」の自然な雰囲気も好きです。一番の魅力は JR や地下鉄、空港もあって交通の便が良いところかもしれません。

百合が原花壇を造り隊
代表 熊谷 ゆきさん

団体の立ち上げメンバーの一人。介護のために美唄市の美家と北区の自宅を行き来しながらも積極的に活動に参加中。

心を和ませるような花壇で、駅を訪れる人々を迎えたい、そんな思いを持って活動し続ける「百合が原花壇を造り隊」。代表の熊谷ゆきさんはじめ、立ち上げメンバー4人はもとも百合が原でボランティア活動をしてきた花好きばかり。造成初年度は、4人の知識や経験を生かして選んだ花苗400株を植え込みました。赤・黄・白・青の4色に分けて植物を配置、花が映えるように芝生も植え込み、爽やかで見る人の心を癒やしてくれるデザインが特長です。

百合が原花壇を造り隊
TEL.090-6876-2855(熊谷)
メンバー募集中!
興味のある方は上記まで連絡を。

当初は苗の盗難に遭い、悲しい思いをしたことも。盗難対策の看板を立て、雑草とも闘いながら花壇を整えていきました。「整備の道具や備品管理、花の選定など、北区や北土木さんの協力を得て恵まれた中で活動



立ち上げメンバーの一人今村さん(中央左男性)は活動日以外もつい花壇の様子を確認しに来てしまうほど熱心

CASE.02

Town planning
in North

寄り添う

北区の自然をはぐくみ、守る人たち

百合が原花壇を造り隊



街の顔である駅前で

ほっと心を和ませるロータリー花壇。

夢は百合が原公園へ続くフラワーロード。

JR百合が原駅を降りると、出迎えてくれるのは大きなユリノキとロータリーの花壇。芝生の緑も美しい花壇には、赤や黄色の花々の間に白蝶草の別名もあるガウラの小さな花が風になびいて、心休まる駅前の風景を造り出しています。

花壇ができた当初から整備を担っているのが「百合が原花壇を造り隊」です。2017年に北区の「駅を中心としたみどりの顔づくり事業」の募集に応じた4人のボランティアで発足したこのグループは、花壇のデザインや、毎年植えこむ植物の選定にも携わっています。活動は5、11月初旬、毎週水曜の午前中に行う花壇の整備が中心。無理のない範囲で参加し、植栽や雑草除去などを行っています。

2022年は、ガーデンフェスタ北海道の開催に合わせ、駅の周辺にヒマワリを約140本植えたほか、花壇のシンボルでもあるユリノキが初めて花をつけるなど、記念すべき1年になりました。